

オックスフォード・インストゥルメンツ社が、コロナ禍のリモートアクセスの課題に俊敏に対応

オックスフォード・インストゥルメンツ社は、最先端技術に関する研究機器、ツール、サービスを提供する有力企業です。同社の顧客には、一流の学術機関、さらには世界の政府機関や民間の研究開発センターが含まれます。既存技術における可能性の限界を押し上げ、重要な科学的進歩を実現していることが同社の誇りです。

オックスフォード・インストゥルメンツ社は、研究者がこれまで利用できなかった情報やデータを取得するために使用する最先端のツールを開発しています。ソフトウェアが科学研究の分野に大変革をもたらすであろう——同社はこのことを認識した段階で、ソフトウェア関連の能力の強化を切望するようになりました。

とりわけ、オックスフォード・インストゥルメンツ社の分析機器事業部は、特定産業用途向けの一連のソフトウェアツールを進歩させる取り組みに多大なリソースを振り向けていました。このソフトウェアは、次第に不可欠なツールとなっていきました。しかし、価値の提供は重要であるものの、それだけで成長を実現することはできません。進歩を続けるうえで、同社はソフトウェア販売による収益を最大化する必要がありました。その実現にあたって、ソフトウェア収益化の取り組みを支援できるパートナーを求めたのです。

フィーチャ中心の収益獲得と確かなセキュリティ

オックスフォード・インストゥルメンツ社は価値の高いツールを提供していましたが、この分野で進歩を続けるには、ソフトウェア販売による収益を確保するための信頼性の高い手段が必要でした。それに加え、同社のソフトウェアを求める市場はデータセキュリティの問題が大きく影響します。同社は、リスクによる顧客離れにつながりかねない収益化ソリューションを導入するような危険を冒せませんでした。

オックスフォード・インストゥルメンツ社は、インターネットから切断されているPCや研究機器に独自のソフトウェアを組み込むためのシステムを確立しました。具体的には、Thales Sentinelライセンス/エンタイトルメント管理を活用することで、個々のソフトウェアフィーチャの収益化を図ったのです。

基本的にはすべての顧客が、同じソフトウェアが組み込まれた機器を受け取ります。注文内容に応じて、一部の機能は利用でき、それ以外の機能は非表示のままとなります。このように、製品の機能をセグメント化することで、オックスフォード・インストゥルメンツ社は自社のソフトウェアにおける、最も価値と需要の高い機能から収益を生み出すことに成功しました。同社は、購入前の試用を認めるモデルでも大きな成功を収めました。顧客は一部の機能を試用し、その後、ライセンス購入による無期限のアクセス権の取得へと進むことができます。購入しない場合、その機能は非表示になります。インターネットから切断されている環境への展開とフィーチャのカスタマイズ・収益化。この2本柱からなるアプローチにより、オックスフォード・インストゥルメンツ社は顧客の満足と収益の獲得を同時に達成できました。

コロナ禍がもたらした、リモートでの研究という難局

オックスフォード・インストゥルメンツ社は、市場で十分に通用するソフトウェア収益化戦略を確立していました。そこで発生したのが、2020年の新型コロナウイルス感染症によるパンデミックとロックダウンです。その時点まで、同社の顧客は常にそれぞれの研究所で勤務していました。研究所は、研究者にとってデータを収集、整理、分析、解釈するための唯一の拠点だったのです。しかし、突如としてすべてが一変しました。



研究者は引き続き業務にあたる必要がありましたが、以前のように研究所に赴いて勤務できる保証はありませんでした。たとえば、研究所の顕微鏡を使って貴重な数時間を過ごすことがあっても、データの分析は自宅で行わなければならなくなりました。同じ状況が、あらゆる主要分野の研究開発センターで発生しました。世界中の研究者が突然、リモート環境で機能するソフトウェアを求めようになったのです。

柔軟性の高いライセンス/エンタイルメントが課題を解決

オックスフォード・インストゥルメンツ社にとって急務の課題は、突如として変化した顧客のニーズに応え、継続して利用してもらうための手段を見出すことでした。かつて、同社の顧客は厳しい制約の下でのみ利用できるソフトウェアを求めていました。それが今度は、簡単なリモートアクセスを切望するようになったのです。

幸いにも、オックスフォード・インストゥルメンツ社はライセンス/エンタイルメントの仕組みに関してThalesと長きにわたり提携してきました。同社が自社開発のシステムや、そうでなくとも柔軟性の低いシステムを導入していたら、この課題を克服できなかったかもしれません。以前よりライセンス/エンタイルメントテクノロジーに投資していたオックスフォード・インストゥルメンツ社は、危機に際して方針を転換し、市場の新しいニーズに見合ったサービスを迅速に提供することができたのです。

「大多数の顧客が苦境に陥っていることを認識した時点で、当社は直ちに、在宅勤務が必要になった顧客に緊急ライセンスを付与しました。当社の迅速な対応は、顧客の期待をはるかに上回るものでした。それは、このテクノロジーを導入していたからこそできたことです」

ここで、セキュリティや収益化を目的として利用していたテクノロジーが、リモートワークを直ちに実現。オックスフォード・インストゥルメンツ社はわずか数日でエンタイルメントを調整し、既存のユーザーにリモートライセンスキーを提供しました。極めて重要なのは、この際に製品のコード変更が不要だった点です。同社は時間ベースのライセンスモデルを導入し、それを通じて当初、アプリケーションへの3か月間の緊急アクセス権をユーザーに付与しました。そして、リモートワークという現実が当初の予測よりも長く続くことが明白となった時点で、この期限を延長しました。同社の開発者にとっても、ソフトウェアへのアクセスに依存する研究者にとっても、更新作業はすべてスピーディかつ簡単でした。

不確実性の高い期間において、オックスフォード・インストゥルメンツ社は柔軟性の高いライセンス/エンタイルメントを活用し、大きな混乱なく仕事を続けられるよう顧客を支援しました。

課題:

- ・ ソフトウェア販売から収益を生み出す
- ・ 極めて高度なデータセキュリティを維持する
- ・ コロナ禍による在宅勤務へのシフトが進む中で顧客のニーズに応える

ソリューション:

- ・ LDKaaS
- ・ HL
- ・ SL
- ・ CL
- ・ プレミアムテクニカルサポート

成果:

- ・ フィーチャベースのライセンスによって確実な収益源を創出
- ・ 厳重なセキュリティの確保によって顧客との信頼関係を確立
- ・ コロナ禍において、柔軟なアクセス権によって顧客満足を実現

Thalesについて

顧客のプライバシーを保護すること、自分たちのデータを保護すること——その手段としてThalesが信頼をもって選ばれています。今日、企業は、データセキュリティにまつわるさまざまな“決定的瞬間”に直面しています。暗号化戦略の構築、クラウドへの移行、コンプライアンス対応などはThalesにお任せください。それらを緊密に支援することで、貴社をデジタルトランスフォーメーションに導くことができます。

決定的瞬間に対する決定的技術